

東芝は法令を順守し 差別争議の解決を



非常識にも門扉を閉ざし、要請を拒否
東芝家電大阪工場（5・24大阪労連総行動）



全労連の坂内三夫議長「今こそ東芝は、争議を全面的に解決せよ。東芝が不当労働行為を続けるなら数倍の力を結集し、東芝本社を包囲する」（5・24全労連総行動）

3度の労働委員会命令を履行し 差別を是正しつぐなえ

5月24日、全労連争議支援総行動に結集した450人の大きな流れが、東芝本社を包囲しました。また大阪労連総行動では、東芝関西支社と東芝家電製造大阪工場への要請・抗議行動がおこなわれました。

東芝の西田社長は、社外ホームページで「法令順守を最優先、CSRの遂行を経営の柱にすえる」と約束しています。

それなら、ただちに労働委員会命令を履行して争議解決の話し合いを決断すべきです。

東芝は 横暴・無法やめよ

ところが社内では「労働委員会命令を無視する労組法違反」を続け、中労委から東京地裁に訴えられています。さらに「派遣法違反の偽装請負」「労基法違反の不払い労働」で各地の労基署や労働局から行政指導を受け、原発データ改ざんや談合事件をおこしました。

こんな無法をなくし「自由にモノが言える職場」にするために、差別争議の全面一括解決に向けて、ご支援をお願いします。

東芝の職場を明るくする会 ホームページ

53万アクセス突破！

検索のキーワードは「東芝の職場」



激励する愛労連の福田副議長



東芝本社を包囲する450人の支援者



東芝の職場を明るくする会・石川会長「差別を受けてきた労働者は大勢いる。解決めざし団結の輪を広げてがんばる」

東芝争議支援共闘会議・東芝の職場を明るくする会

〒210-0006 川崎市川崎区砂子2-11-20 大幸ビル402 川崎労連内 TEL 044-211-5164 2007年6月

東芝は社会的責任はたせ!

法令を順守し CSR 遂行の約束守れ 違法な差別やめ秘密組織を解散せよ

東芝の役員は、政府機関や経済団体などの役員をつとめ、政財界に大きな影響力をもっています。

東芝が大企業の社会的責任に背を向け、労働委員会からだされた3度の差別是正命令を守らず、労組法で決められた命令履行義務違反を、長期にわたって

東芝役員の政財界活動

(1) 西室泰三・東芝相談役

日本経団連評議委員会議長
財務省・財政制度審議会長
東京証券取引所会長兼社長

(2) 岡村正・東芝会長

日本経団連副会長
同上 経営労働政策委員長
安倍内閣・イノベーション25委員
外務省・外務人事審議会長

続けていることは許されません。

西田社長は「法令順守を最優先に、CSRの遂行を経営の柱にする。差別をしない。」という約束を実行し社会的責任(CSR)をはたすべきです。

組合の弱体化をねらった

「問題者」対策は違法

東芝が1960年代から現在まで続けてきた「問題者対策」と言われる労務管理は、組合活動や思想信条で労働者を差別する違法な労務管理でした。

会社の違法行為の事実は、下記の証拠資料で認定され、3度の労働委員会命令で確定しています。

- (1) 問題者名簿と対策・・・本社勤労部作成
全社的な秘密活動報告書：248ページ
全社で494名が「問題者」とされた。
- (2) 職場管理者教室（扇会員を養成する研修）
- (3) 東芝扇会機関誌（1970年代から80年代）
- (4) 自己啓発の会活動記録（～2004年まで）
扇会の後継組織として会社が育成・活用
- (5) PMDC 課長候補教育資料（問題者対策）

これらの証拠をみれば、申立人と一緒に活動してきた数百名の労働者が、賃金・資格・役職・仕事で差別を受けてきたことは明白です。

社長あてに差別是正を申し入れてきた100名の人達の中には、全社で最低の賃金におさえこまれたり、差別と嫌がらせで病気になっている人もいます。

100名の差別を是正し償うことは、違法な労務管理をおこなってきた東芝の社会的責任です。

社会常識にも反する異常な対応 ドアに目隠し 真っ暗に

東芝の支社や各工場では「本社の指示だから」と、室内の照明を消し、すべての窓・ドアを白紙で目隠しまでして、争議の早期解決をめざす要請書の受け取り、話し合いをかたくなに拒否しています。



東芝関西支社では、昨年と同じように26階から34階までの全フロアの照明を消し、ドア全面を白紙で目隠しをして、要請を受け付けず。

本社や工場では警備会社の警備員をタテにして、東芝関係者は姿を見せず要請書の受け取りも拒否。

「いまだき、こんな会社はめずらしい。テレビCMや東芝ホームページでの西田社長の話とは大違い。職場の中は、違うんですね」と支援者はビックリ。（詳細は、会のホームページをごらんください）

人権侵害の秘密組織と 問題者名簿なくせ

1965年、IHI社長だった土光敏夫氏が東芝社長（その後、経団連会長）になり、歴代の東芝社長がIHIの役員になるなど、IHIと東芝は「兄弟会社」と言われ、同じような労務管理が行われました。

そのIHI(石川島播磨)は、2007年1月、過去40年間の差別を反省しZC名簿（東芝の問題者名簿と同じ）の廃棄と、168名の労働者（退職者を含む）の差別を是正し償い、差別争議を解決しました。

東芝の秘密組織の研修（職場管理者教室）は、最近も石川島研修センターでおこなわれています。

東芝がおこなってきた人権侵害の問題者名簿、秘密組織の活動は、IHIの例と同じく憲法と労働基準法、労働組合法に違反します。私達は、差別争議の全面一括解決を実現するために頑張ります。